

## 4. 看護実践における管理的側面の評価表

文末が「知っている」→0⇒1：知らない 1⇒2：聞いたことがある ~~2：だいたい知っている~~ 3：知っている  
 文末が「できる」→ 0：未経験 1：できない 2：指導があればできる 3：一人できる

A. 安全管理		0ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
1	施設における医療安全管理体制について理解している				93.8	47.6
2	インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行える					93.2
B. 情報管理						
1	施設内の医療情報に関する規定を理解している				89.7	37.9
2	患者等に対し、適切な情報提供を行える				95.9	49.0
3	プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱うことができる					93.9
4	看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成できる				99.3	69.4
C. 業務管理						
1	業務の基準・手順に沿って実施することができる				100	74.0
2	複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動することができる				96.5	59.0
3	業務上の報告・連絡・相談を適切に行うことができる				99.3	74.0
4	決められた業務を時間内に実施できるように調整することができる				98.6	55.9
D. 薬剤等の管理						
1	薬剤を適切に請求・受領・保管することができる				88.4	54.4
2	毒薬・劇薬・麻薬を適切に請求・受領・保管の方法を知っている				67.1	16.4
3	血液製剤を適切に請求・受領・保管することができる				58.5	13.6
E. 災害・防災管理						
1	大規模地震発災時・直後の職員の行動指針について知っている				83.6	32.9
2	所属するセクションの災害時の管理・点検範囲を知っている				73.3	26.7
3	定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動を円滑に実施することができる				65.1	20.5
4	施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明することができる				69.9	28.1
F. 物品管理						
1	規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱うことができる				92.5	49.0
2	看護用品・衛生材料の整備・点検を行うことができる				84.9	48.6
G. コスト管理						
1	患者の負担を考慮し、物品を適切に使用することができる				95.2	53.8
2	費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択することができる				88.3	37.9

H19年度1年後に「3」の割合  
 (左隣は「3+2」の割合)